

特別建物献金 1/14(日): \$210、月定建物献金 12月: \$1,850

一般会計	11月単月			11月累計		
	2017年実績	2017年予算		2017年実績	2017年予算	
収入						
約東献金(英語部)	33,236	30,189	10%	375,809	362,264	4%
約東献金(日本語)	7,516	9,811	-23%	89,996	117,736	-24%
特別献金(英語部)	13,432	13,660	-2%	64,576	43,924	47%
特別献金(日本語)	2,635	4,619	-43%	10,496	17,426	-40%
その他の収入	6,148	6,198	-1%	59,405	72,998	-19%
宣教部	7,109	7,717	-8%	75,438	92,404	-18%
収入合計	70,076	72,195	-3%	675,720	706,752	-4%
支出						
給与ベネフィット	35,502	45,550	-22%	422,175	510,298	-17%
一般運営費	12,434	8,851	40%	154,907	148,359	4%
礼拝部	150	1,396	-89%	3,566	10,633	-66%
スチュワードシップ部	-1,114	685	-262%	1,608	7,540	-79%
群れの育成部	447	317	41%	1,094	3,483	-69%
宣教部	9,212	8,500	8%	92,317	93,500	-1%
支出合計	56,631	65,299	-13%	675,667	773,813	-13%
収支	13,445	6,896	95%	53	-67,061	-

マキキ掲示板

「サマリヤ人」と呼ばれる少数民族

相崎恵美

ユダヤ人が忌み嫌う「サマリヤ人」と呼ばれる民族が福音書に登場する。私もマキキ教会で数年に渡りヨハネの4章前半の舞台「スカル」の井戸で起きたサマリヤの女性のことを話させてもらった。今まではサマリヤ人＝現在のパレスチナ人だと思っていたら間違いだったらしい。未だに自分たちを「サマリヤ人」と呼ぶ少数民族が存在していることを知った。それもスカル(現ナブルス)の街に！

長年の迫害により一時は人口が150人ほどまで減少したが今は700人ほどに回復したという。同僚が送ってくれたサイトによると、現在のサマリヤ人は民族の血と習俗を守るために同族間だけで子孫を残して来たため、先天性疾患や遺伝病をもって生まれてくる赤ちゃんの数が他の民族との比ではないらしい。多くの若いサマリヤ女性は他民族の男性と結婚して村から追放され、若い男性はロシアやウクライナから嫁さんをお願い民族を絶やさないとされているが、それはそれで長老たちの悩みの種。

新約聖書時代のユダヤ人に「異邦人との混血」のため見下されていた民族が、その「純血」を守るがゆえにおきてしまったこの問題、皮肉と片付けていいのだろうか。

マキキ聖城キリスト教会 — MAKIKI CHRISTIAN CHURCH

829 Pensacola Street, Honolulu, Hawaii 96814

電話: 808-594-6446(教会代表) 808-594-8919(日本語オフィス) Fax: 808-594-8918

HP: [www.makikichurch.org](http://www.makikichurch.org) Email: [nichigobu@makikichristian.org](mailto:nichigobu@makikichristian.org)

(MCC 教会チーム) 主任牧師: ウェイン・イバラ、グロリア・イマムラ(英語部)



マキキ・ファミリー  
Makiki Family

教会報 201年1月号 No.73

2018年を迎えて

小林 潤

様々なことがあった2017年も12月は原田牧師が日本から5週間に渡ってお越しいただき、私たちも落ち着いたクリスマスをお過ごしすることが出来ました。先生ご夫妻もキャロリングやのぞみの会等、さまざまな教会行事に参加していただき、ハワイでの年越しを楽しまれてお帰りになられたようで、終わりよければ全てよしという言葉がありますが、そんな感じで2017年も終わることが出来ました。原田牧師をご紹介いただいた具志堅牧師ならびに、先生方をお迎えするために牧師館を整えていただき、空いた時間で先生方のお世話をさせていただいた皆様に感謝です。また、昨年末をもって田辺共恵姉、照屋初子姉がカウンシルのお役目、任期満了となりました。お二人にはこのあわただしい1年、しっかりサポートしていただき、本当に助かりました。ありがとうございました。

そして2018年の始まりは、3名の新しいカウンシルメンバー(三田村真理子姉、飯島寛子姉、平井泰造兄)と、メンバーアットラージとして日本語部代表でJMCにご出席いただく2名(岡崎恵子姉、高橋麻子姉)

(山口一兄はメンバーアットラージからカウンシル)を迎えると共に、新年最初の礼拝で牧師選考委員会よりマキキの日本語部牧師最終候補者の藤浪義孝先生の発表があり、いよいよ今週、質疑応答のセッションの後、来週、2月4日の礼拝後、メンバーによる承認を得て、正式に私たちの牧師としてお迎えすることとなります。昨年7月にお引き受けいただいたから半年、選考委員会の皆様(小川真由美姉、藤山好美姉、クレーベン悦子姉、玉寄朋子姉、橋本マイク兄、池澤博兄)には、貴重な時間を費やしていただき、多くの苦勞の中で教会のために祈り、最終的に全員一致による最終候補者を推薦していただいたこと、なんと感謝を申し上げてよいかわかりません。

今週は木曜日から数回の質疑応答の時間を設けています。藤浪先生のことをもっとよく知りたいと思われる方、ぜひ、それらにご参加いただき、お聞きになりたいことを質問してください。そして、4日には教会全体で藤浪先生を心からお迎えしたいと思います。

(→裏面に続く)

(→前ページからの巻頭言の続き)

また、お迎えすることが決まった後、先生をサポートしていくのは私たち教会員です。そのためにも現在、皆様に記入をお願いしているラブラブノートを記入し、提出してください。毎年働き手が少なく、それぞれの部では必要最低限の人数を確保するのも非常に苦勞をしています。どんなに小さなこと、また、毎週、毎月でなくてもかまいません。ご自分に与えられた賜物を生かしていただき、教会が神の手足となって働くことができる場所となりますよう、よろしく願いいたします。

昨年お越しいただいた土屋先生のメッセージの中で、マキキは無牧といっているが大牧者である主はいつもいらっしゃる、だからこの無牧の時期は大牧者ともっと交わる良い機会であるとおっしゃっておられました。この期間、皆様は主とどのような交わりを持つことができたでしょうか。その交わりを通じて学んだこと、教えられたことをこれからの教会に生かしていただければ、と思います。ぜひ、これからも皆様のサポートよろしく願いいたします。



## NMC からの報告

1月21日(日)にカウンシルミーティングが行われた。

1. 日本語オフィスが1/28から2/8まで休む間は、週報に掲載希望の事項については、レイ久美姉とヴァインズ郁子姉にメールで知らせること。
2. 2018年度の愛餐会の当番を探すのに苦勞している。ランチを月2回(第2と第4週目)に縮小することを考慮中。奉仕希望者は群の育成部の飯島寛子姉、三田村真理子姉まで。
3. 礼拝部より: ベビーシッターと通訳奉仕者が不足している。奉仕希望者は、ポーター裕子姉またはクラブトリ一玲子姉まで。
4. 2月18日(日)の第二礼拝に東京学芸大学の学生、教師15名来会予定。
5. 2月11日(日)の第二礼拝にゴスペルシンガーの神山ミサさん、2月18日(日)の第二礼拝にゴスペルバンドのサルキーを特別賛美として迎える。
6. 3月11日(日)の心に光を支援者大会の開催について、例年通りマキキで開催することを承認した。
7. 2月4日(日)の次期牧師候補の会衆承認について下記の事項が決定した。
  - 不在者投票は受け付けない。
  - 会衆承認は2月4日(日)の礼拝に出席しているマキキメンバーで挙手または拍手で行う。
  - 次期牧師候補との交わりの期間(2/1~3)に出来るだけ出席してもらうために、再度1月28日(日)に案内のインサートを入れ徹底して呼びかける。

## 今後の予定



- ❖ 2月4日(日)  
ゲストスピーカー 藤浪義孝牧師  
第一、第二礼拝後に次期牧師候補投票  
DVD アフタヌーン 1:30p.m.@OAM  
ヤンジェネ 2:30p.m.@中庭  
ラブラブノート締め切り・集計
- ❖ 2月11日(日)  
ゲストスピーカー 中野雄一郎牧師
- ❖ 2月12日(月)~2月16日(金)  
KZOO「心に光を」マキキ教会担当週
- ❖ 2月18日(日)  
ゲストスピーカー グレイグ・ポーター一師
- ❖ 2月19日(月)プレジデントデー  
教会お休み
- ❖ 2月25日(日)  
ゲストスピーカー 中野雄一郎牧師  
カウンシルミーティング 1:30p.m.
- ❖ 2月26日(月)10:00a.m.&7:00p.m.  
ミニチャーチリーダー一会

## しみから美しいものに変えられる

大変価値のある素材を用いて作られたハンカチが、インクのしみがついたために、台無しになってしまいました。持ち主は、もはやそのハンカチを自慢することができなくなってしまったのです。彼女はある機会に、それを英国の美術批評家であり、また画家でもあるジョン・ラスキンに見せました。

すると、ラスキンはインクのシミの部分を美しいデザインに見事に変身させたのでした。そのハンカチは以前よりも価値のあるものとなったのです。

アダムは神の最高の創造でした。ところが彼は罪によって自分自身を破壊してしまいました。完全な人間であったアダムにしみ、傷がつき、彼は永遠に捨てられても仕方がない存在になってしまったのです。しかし、恵みに富み、最高の芸術家である神は十字架によって、破壊された罪人を取り上げ、聖なるキリストの美しさが反映されるものと造り変えてくださったのです。

(リビングライフ「今日の霊想」より)